



岩手労働局発表  
令和2年11月16日

【照会先】

岩手労働局労働基準部健康安全課  
課長 高橋 友行  
課長補佐 和野内 利幸  
(電話) 019-604-3007

## 令和2年1月～10月分(速報値)の 労働災害発生状況を公表します

～令和2年(1月～10月)の死傷者数は、前年同期比 2.6%の減少～

岩手労働局(局長 おじか まさや 小鹿 昌也)は、令和2年1月～10月の県内の全業種における労働災害による死傷者数(休業4日以上)及び死亡者数の状況を取りまとめました。

令和2年1月～10月(10月末現在の速報値)の死傷者数は1,006人となり、前年同期比で27人(2.6%)の減少、死亡者数は10人となり、前年同期と比べ4人の増加となっています。

(業種別等の発生状況は以下のとおりとなっています。)

### 令和2年(1月～10月)の労働災害発生状況 (令和2年10月末現在 速報値)

1 死傷災害(休業4日以上) 【表1】(P.3)、【グラフ1】、【グラフ2】(P.5)

(1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は1,006人で、前年同期比で27人(2.6%)減少しました。

(2) 業種別の状況[大分類]

① 前年同期比で増加数の多い順に「製造業」219人(前年同期比+24人、+12.3%)、「農林業」54人(前年同期比+9人、+20.0%)、「保健衛生業」115人(前年同期比+8人、+7.5%)となっています。

② 前年同期比で減少数の多い順に「運輸交通業」81人(前年同期比-33人、-28.9%)、「商業」137人(同-18人、-11.6%)、「接客娯楽業」42人(同-11人、-20.8%)となっています。

(3) 事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、253人(25.1%)となっています。次いで、「墜落・転落」153人(15.2%)、「は

さまれ・巻き込まれ」122人（12.1%）となっています。

## 2 死亡災害 【表2】、【表3】(P.4)

### (1) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は10人で、前年同期(10月末日までに報告のあった件数)と比べ4人の増加となっています。

### (2) 業種別の状況[大分類]

業種別では、「農林業」で4人(うち林業3人)、「建設業」、「清掃・と畜業」で2人、「製造業」、「運輸交通業」で各1人となっています。

## 3 岩手労働局第13次労働災害防止計画の重点業種の状況(※)

「製造業」219人(前年同期比+24人、+12.3%)、「建設業」171人(同-9人、-5.0%)、「道路貨物運送業」70人(同-34人、-32.7%)、「林業」39人(同+2人、+5.4%)、「小売業」113人(同-2人、-1.7%)、「社会福祉施設」99人(同+10人、+11.2%)となっています。

※ 岩手労働局第13次労働災害防止計画では、重点業種の指定レベルは、「製造業」、「建設業」の2業種については大分類レベルで指定し、当該2業種以外の業種については、中分類レベルで指定しています。

# 冬季特有災害を防止しよう！

## 1 積雪・凍結による転倒災害、墜落災害の防止

- (1) 事業場の敷地図等に積雪・凍結しやすい場所を記入した転倒危険マップ等を作成・掲示し、転倒リスクの見える化を図る。
- (2) 事務所・工場等の出入り口付近、通路、作業箇所の積雪・凍結防止のための囲いの設置、除雪、融雪措置の徹底。
- (3) 工事現場の外部足場、事業場建屋の外階段等の雪の吹き込み防止用ネット等の設置。
- (4) 滑り難い靴等の着用徹底。

## 5 一酸化炭素中毒の防止

- (1) 屋内で石油ストーブ等を使用する際の換気の徹底。
- (2) 自然換気の不十分な場所では内燃機関を有する機械を使用しない。また、練炭での採暖をしない。
- (3) 工事現場における練炭によるコンクリート養生は、原則避ける。やむをえず練炭を使用する場合は、一酸化炭素中毒の予防について十分な対策を講じたうえで使用する。

## 2 車両等のスリップ事故等の交通労働災害の防止

- (1) スタッドレスタイヤ、降雪用ワイパーなどの早めの交換。
- (2) 余裕を持った車両運行計画の作成。
- (3) 速度を控え、早めブレーキ、急ハンドル・急ブレーキ回避の徹底。
- (4) 橋上・トンネル出入口・日陰部分等の速度控えめの徹底。

## 6 凍結の緩みによる土砂崩壊災害等の防止

- (1) 凍結・融解の繰り返しによる地山の緩みから生じる崩壊・転石による災害防止のための作業開始前の地山の点検・こそくの徹底、土止め支保工の適切な設置。
- (2) 融雪・鉄砲水災害防止のため、作業箇所周辺、上流の雪・融水等の状態の調査の実施と調査結果に基づく、適切な措置の徹底。

## 3 雪降ろしの際の災害の防止

- (1) 作業開始前の腰痛予防体操の励行。
- (2) 安全装備(滑り難い靴・安全帯・ヘルメット等)の徹底。
- (3) 軒先の立入禁止の徹底。

## 7 作業時の保温・体操の実施

- (1) 作業場内の気温調整、防寒衣の着用等による保温の徹底。
- (2) 作業開始前及び作業の合間の筋肉をほぐす体操の励行。

## 4 火災・火傷の防止

- (1) 薪ストーブ・焚き火等の着火の際のガソリン・軽油・灯油等の使用禁止。
- (2) ガソリン等可燃物の保管場所の火気厳禁の徹底。
- (3) 事業場、工事現場、寄宿舎等における火気取締責任者の選任、作業終了時・就寝時等の火気の点検の徹底。

## 8 その他の冬季特有災害の防止

- (1) 積雪・強風によるハウス等の転倒・倒壊防止。
- (2) 雪崩による危険防止。
- (3) 吹雪・濃霧による道難防止対策の徹底。

【表1】

## 令和2年 労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

令和2年 1月～10月

岩手労働局

業種	岩手局		盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署		
	令和2年	令和元年									
製造業	食料品	18 (7)	21 (7)	-3	-14.3%	24 (6)	7 (2)	3 (1)	1	6 (3)	1 (1)
	水産食料品	67 (24)	63 (20)	4	6.3%	1	1	2 (1)	16 (9)	3 (3)	11 (3)
	上記以外の食料品	2	6 (1)	-4	-66.7%	4	6 (1)	2 (1)	3	3	8 (1)
	繊維・衣服その他繊維製品	27 (5)	21 (3)	6	28.6%	1	6 (1)	2 (1)	① 5 (1)	1 (1)	
	木材・木製品、家具・装備品	① 7 (2)	6 (1)	1	16.7%	3		2 (1)	7 (2)	1	3 (2)
	パルプ・紙、印刷・製本	16 (5)	12 (3)	4	33.3%				1		
	化学工業	4 (1)	6	-2	-33.3%	2	2		3 (1)	1	1 (1)
	窯業土石	8 (1)	2	6	300.0%	3	3		8 (1)	5	1
	鉄鋼業、非鉄金属	18 (1)	23 (6)	-5	-21.7%	2	2		6 (2)	2 (2)	
	金属製品	12 (4)	6	6	100.0%	2	2 (1)		5 (2)	3	1 (1)
	一般機械器具	12 (5)	9 (6)	3	33.3%	2	2 (1)		6 (2)	2	
	電気機械器具	12 (4)	10 (2)	2	20.0%	2			6 (2)	3	1 (1)
	輸送用機械製造	16 (7)	9 (3)	7	77.8%	4 (2)	1 (1)		2 (1)	2 (2)	4
電気・ガス	① 219 (66)	195 (51)	24	12.3%	48 (10)	19 (5)	16 (6)	① 64 (21)	27 (8)	18 (9)	27 (7)
その他の製造	4	2	2	100.0%	1	1	2				
土木工事	① 62 (7)	③ 70 (11)	-8	-11.4%	11	① 12 (2)	4 (2)	12 (1)	5	8 (1)	10 (1)
鉄骨・鉄筋家屋	20 (2)	15 (4)	5	33.3%	2	1	3	7 (1)	1	2 (1)	4
木造家屋	35 (4)	① 44 (7)	-9	-20.5%	15 (2)		1 (1)	8 (1)	4	1	6
その他の建築工事	① 33 (2)	27 (2)	6	22.2%	① 15 (2)	2	4	5	1	2	4
その他の建設	21 (2)	24 (2)	-3	-12.5%	4 (1)		3 (1)	5	5	2	2
小計	② 171 (17)	④ 180 (26)	-9	-5.0%	① 47 (5)	① 15 (2)	15 (4)	37 (3)	16	15 (2)	26 (1)
道路貨物運送業	70 (12)	① 104 (18)	-34	-32.7%	37 (7)	2	1	20 (3)	3 (1)	4 (1)	3
その他の運輸交通業	① 11 (3)	10 (7)	1	10.0%	① 6 (2)	1		1	1	1	1 (1)
貨物取扱		1	-1								
農林業	① 15 (3)	8	7	87.5%	4 (1)	1		① 4 (2)	2		4
林業	③ 39 (1)	37 (4)	2	5.4%	① 9 (1)	① 8	3	① 7	4	4	4
畜産業	52 (5)	48 (9)	4	8.3%	23 (1)	2	3	9 (1)	10 (2)	1	4 (1)
水産業	9 (1)	8	1	12.5%		7 (1)				1	1
小売業	113 (41)	115 (54)	-2	-1.7%	44 (17)	7 (1)	8 (2)	20 (9)	12 (5)	8 (4)	14 (3)
その他の商業	24 (5)	40 (8)	-16	-40.0%	13 (2)		1	7 (2)	2 (1)	1	
通信業	14 (5)	16 (5)	-2	-12.5%	8 (4)	1		1		2 (1)	2
社会福祉施設	99 (43)	89 (31)	10	11.2%	34 (14)	3 (1)	9 (5)	26 (13)	9 (3)	5 (4)	13 (3)
その他の保健衛生業	16 (9)	18 (11)	-2	-11.1%	5 (3)	1 (1)	5 (3)	3 (1)	1 (1)	1	
旅館業	9 (5)	22 (9)	-13	-59.1%	4 (2)		1 (1)	2 (1)	1	1 (1)	
飲食店	17 (6)	23 (7)	-6	-26.1%	9 (3)			3 (2)	4	1 (1)	
その他の接客娯楽業	16 (3)	8 (4)	8	100.0%	10 (3)	1		2	2	2	1
ピルメテナス業	35 (11)	29 (21)	6	20.7%	20 (10)	3		9 (1)	2	1	
その他(上記以外の全ての業種)	② 73 (17)	① 80 (24)	-7	-8.8%	25 (6)	4 (2)	① 4	20 (3)	9 (1)	① 2	9 (5)
合計	⑩ 1,006 (253)	⑥ 1,033 (289)	-27	-2.6%	③ 347 (91)	② 76 (13)	① 68 (21)	③ 235 (62)	103 (22)	① 68 (23)	109 (21)
前年同期			① 368 (117)	① 77 (15)	④ 46 (9)	① 260 (70)	① 105 (28)	① 68 (20)	① 109 (30)	① 68 (20)	① 109 (30)
増減数			-21	-5.7%	-21	-1	22	-25	-2	0	0
増減率			-1.3%	-5.7%	-1.3%	-1.9%	-1.9%	-9.6%	-1.9%	0.0%	0.0%

(注) 令和2年10月末の速報値です。

○内は死亡者数(内数)です。

( )内は転倒災害者数(内数)です。

【表2】

## 令和2年 死亡災害発生状況（10月末日現在）

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
1	宮古	農林業 (木材伐出業)	1月	火	男	70歳代 (30年以上 40年未満)	墜落、 転落	伐木等機械	作業道で、斜面上の伐倒木(杉、長さ30m、切断面直径0.75m)を木材グラップル機で掴み、作業道へ引き上げようとしたところ、木材グラップル機が路肩から13m転落し、運転席から投げ出された。
2	宮古	建設業 (河川 土木事業)	2月	火	男	40歳代 (20年以上 30年未満)	墜落、 転落	建築物、 構築物	道路復旧工事現場で護岸ブロックを階段状に積み重ね、型枠固定作業を行っていたが、地面に倒れているのを発見された。
3	盛岡	運輸交通業 (バス業)	3月	火	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	乗用車、 バス、 バイク	傾斜のある道路上で、パーキングブレーキの故障により停車した低床式バスの修理のため、木製の台座にバスの後輪を寄せ、被災者がバスの車体の下に入り、パーキングブレーキのエアを抜いたところ、パーキングブレーキが解除されたことによりバスが後方に動き、台座から後輪が外れ、車体と道路に全身を挟まれたもの。
4	花巻	農林業 (その他の 林業)	3月	月	男	60歳代 (10年以上 20年未満)	激突され	立木等	伐採作業現場において立木を伐倒したところ、伐倒木の枝が被災者の後頭部を直撃したもの。
5	釜石	清掃・と畜業 (その他の 廃棄物処理業)	3月	月	男	60歳代 (1年未満)	交通事故	トラック	大槌町内の県道を走行中、直線道路で運転を誤り、道路左側の建物に衝突した。乗車していた3名全員が被災し、うち1名が死亡したもの。
6	盛岡	建設業 (その他の 建築工事業)	6月	月	男	40歳代 (10年以上 20年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	高所作業車	住宅の修繕作業終了後、傾斜地に設置した高所作業車のアウトリガーを車両後部の操作装置を操作し格納作業中、斜面に沿って車両が約13m後退した。その際、被災者が高所作業車の下敷きになったもの。
7	花巻	製造業 (パルプ ・紙製造業)	8月	火	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	動作の反動 無理な動作	建築物、 構築物	歩廊面から高さ95cmの位置にあるタンク上面の扇型の開口部に体が挟まれた状態の被災者が発見され、救出したが、腹部圧迫による循環不全で死亡したもの。
8	花巻	農林業 (農業)	8月	木	女	20歳代 (1年未満)	転倒	地山、岩石	造園事業者が山林で下草刈りの作業を行っていたところ、現場に倒れている被災者を一緒に作業していた事業主が発見し、その後、病院に搬送されたが死亡が確認されたもの。 伐倒した木の皮はぎ作業中に斜面で転倒して、切り株に頭部をぶつけたものと思われる。
9	盛岡	農林業 (その他の 林業)	9月	月	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	立木等	被災者が、数年前に伐倒されていた木(ナラ、直径約50cm、長さ約20m)と地面との間に腰部を挟まれ、意識がない状態で発見されたもの。
10	大船渡	清掃・と畜業 (その他の 廃棄物処理業)	10月	金	男	40歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故	トラック	ゴミステーション内にある一般家庭ゴミを収集するため、塵芥車を傾斜がある道路上に止め同僚と収集作業を行っていたところ、塵芥車が後方に動き出し被災者が車両の下敷きとなったもの。

【表3】

## 令和2年 死亡災害発生状況（事故の型別等）

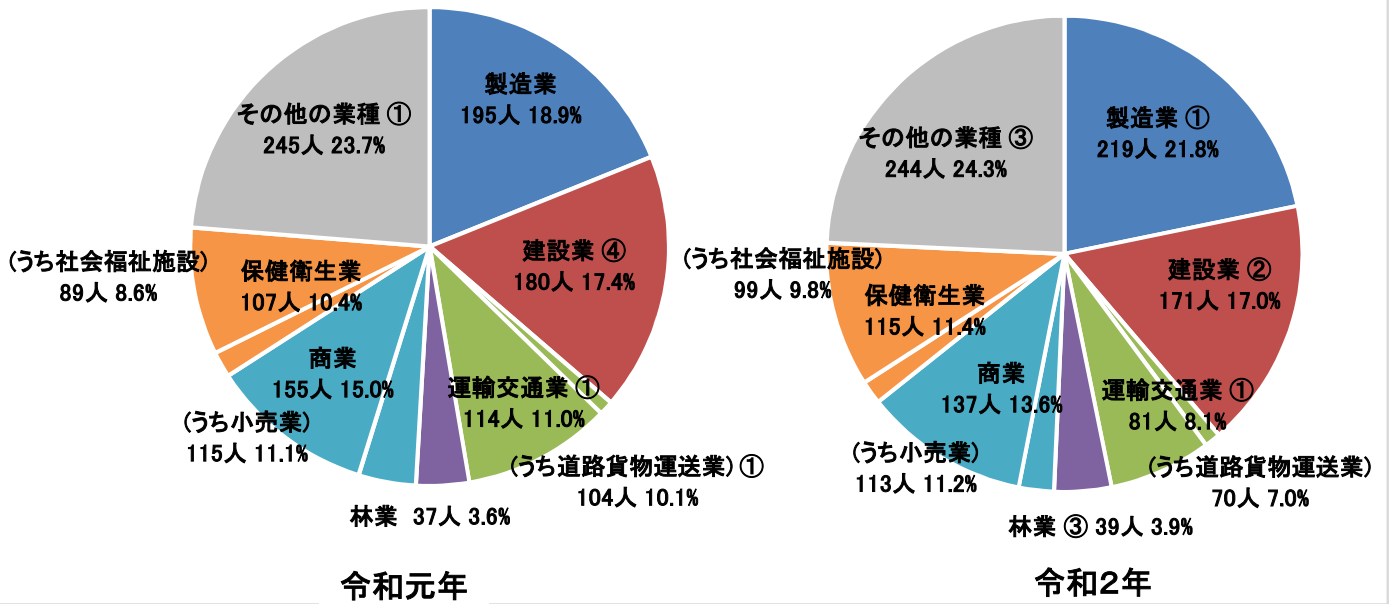
(10月末日現在)

業種別	製造業 1人 (0人)	鉱業 0人 (0人)	建設業 2人 (4人)	運輸交通業 1人 (1人)	林業 3人 (0人)	商業 0人 (0人)	左記以外 3人 (1人)
監督署別	盛岡 3人 (1人)	宮古 2人 (1人)	釜石 1人 (0人)	花巻 3人 (1人)	一関 0人 (1人)	大船渡 1人 (1人)	二戸 0人 (1人)
事故の型別	墜落・転落 2人 (1人)	転倒 1人 (0人)	飛来・落下 0人 (2人)	崩壊・倒壊 0人 (1人)	激突され 1人 (0人)	はさまれ・ 巻き込まれ 3人 (1人)	切れ・こすれ 0人 (0人)
	破裂 0人 (0人)	高温の物との 接触 0人 (0人)	激突 0人 (0人)	感電 0人 (0人)	有害物等との 接触 0人 (0人)	交通事故 2人 (1人)	その他 1人 (0人)

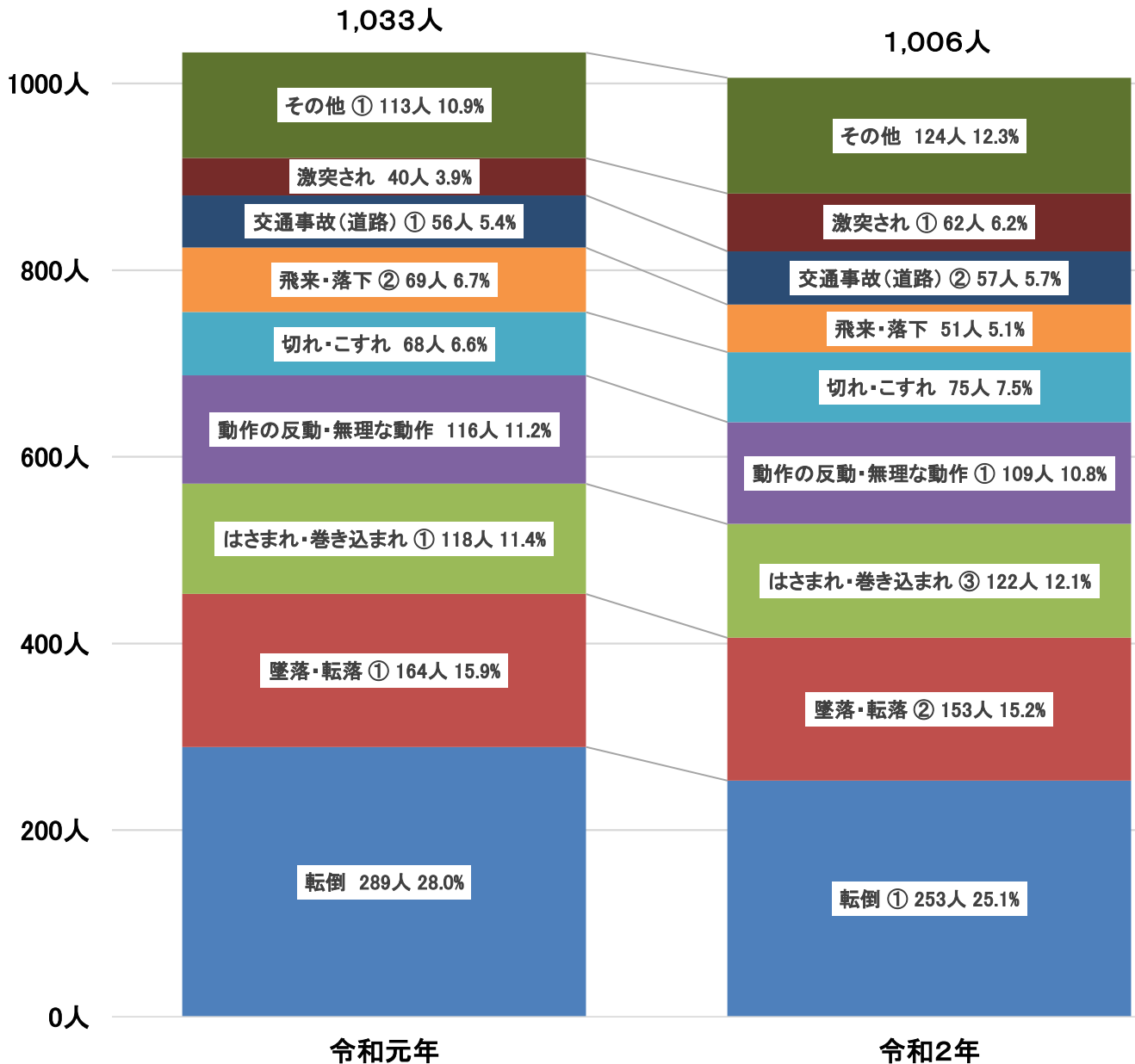
10人  
(前年同期6人)

注：( )内は前年同期

【グラフ1】 令和元年・令和2年(1月～10月) 業種別労働災害発生状況[10月末]



【グラフ2】 令和元年・令和2年(1月～10月) 事故の型別労働災害発生状況[10月末]



○内は死亡者数(内数)です。

【参考1】

令和2年 1月～10月

令和2年 労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

岩手労働局

業種	当年累計	前年同期	月別発生状況													
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
製造業	対前年同期増減数	増減率														
	増減数	増減率														
	食料品	18 (7)	21 (7)	-3	-14.3%	3 (1)	2 (1)	1	1 (1)	4	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1	2 (1)	2 (2)
	水産食料品	67 (24)	63 (20)	4	6.3%	7 (2)	10 (6)	8 (4)	10 (4)	7 (1)	6 (1)	6 (2)	6 (2)	5 (2)	2	2
	上記以外の食料品	2	6 (1)	-4	-66.7%					1					1	
	繊維・衣服その他繊維製品	27 (6)	21 (3)	6	28.6%	3	4 (2)	3	4	3 (2)	4 (1)	1	1	3	2	
	木材・木製品、家具・装幀品	① 7 (2)	6 (1)	1	16.7%		1	1 (1)	2	1 (1)		1	① 1			
	パルプ・紙、印刷・製本	16 (6)	12 (3)	4	33.3%	3 (1)	3 (2)	1	2		2 (1)	1	1	2 (1)	2	
	化学工業	4 (1)	6	-2	-33.3%			1 (1)				1	1	1	1	1
	窯業・土石	8 (1)	2	6	300.0%	3	1 (1)	1	1			1	1	1	1	1
建設業	鉄鋼業、非鉄金属	18 (1)	23 (6)	-5	-21.7%	2	1	2	2	2 (1)	4		4	4		
	金属製品	12 (4)	6	6	100.0%	4 (2)	1 (1)	1	1		2		2	2 (1)	2	
	一般機械器具	12 (5)	9 (6)	3	33.3%	1	2 (1)	1	1	1	1 (1)	2	1 (1)	2	3 (2)	
	電気機械器具	12 (4)	10 (2)	2	20.0%		5 (2)	1	1		1		3 (1)		1 (1)	
	輸送用機械製造	16 (7)	9 (3)	7	77.8%		2 (2)	2	4 (1)	1 (1)	3 (1)		1	1	2 (2)	
	電気・ガス	① 219 (66)	195 (51)	24	12.3%	26 (6)	32 (18)	22 (6)	28 (6)	20 (6)	25 (6)	16 (3)	① 16 (4)	21 (6)	13 (5)	
	その他の製造	4	2	2	100.0%	1			1	1		1				
	土木工事	① 62 (7)	③ 70 (11)	-8	-11.4%	9 (1)	① 9 (1)	8 (1)	8 (2)	3	2	4	7 (1)	8	4 (1)	
	鉄骨・鉄筋家屋	20 (2)	15 (4)	5	33.3%	2	1		1 (1)	4 (1)	2	1	2	4	3	
	木造家屋	35 (4)	① 44 (7)	-9	-20.5%	4 (2)	2	2	9	6	① 7	6 (1)	2 (1)	2	2	
運輸交通業	その他の建設	21 (2)	24 (2)	-3	-12.5%	2	2 (1)	1	2	2 (1)	5	3	4			
	小計	② 171 (17)	④ 180 (26)	-9	-5.0%	21 (6)	① 16 (2)	12 (1)	26 (3)	20 (2)	① 16	17 (1)	16 (2)	18	9 (1)	
	道路貨物運送業	70 (12)	① 104 (18)	-34	-32.7%	7 (3)	7 (1)	6	6 (1)	7 (1)	8 (1)	6	15 (4)	3	5 (1)	
	その他の運輸交通業	① 11 (3)	10 (7)	1	10.0%	1 (1)	2 (1)	① 3		2	1	1 (1)	1			
	貨物取扱	1	1	-1												
	農業	① 15 (3)	8	7	87.5%				2	2	2 (1)	2 (1)	① 5 (1)	1	1	
	農林業	③ 39 (1)	37 (4)	2	5.4%	① 5	7	① 5	3	3	3	6 (1)	3	① 4		
	畜産業	52 (6)	48 (9)	4	8.3%	5	10 (3)	3	6	5 (1)	5	8	3 (1)	4	3	
	水産業	9 (1)	8	1	12.5%	1			1	1 (1)	1	1	1	3	1	
	小売業	113 (41)	115 (54)	-2	-1.7%	10 (6)	15 (9)	9 (2)	14 (6)	17 (6)	15 (4)	15 (4)	8 (3)	10 (2)	13 (6)	2 (1)
その他の商業	24 (5)	40 (5)	-16	-40.0%	4 (1)	1 (1)	5 (1)	4 (1)	2	1 (1)	1 (1)	5	1	1		
通信業	14 (5)	16 (5)	-2	-12.5%	3 (1)	1 (1)	2	1	1 (1)	1	1	2 (1)	2 (1)	2 (1)		
保健衛生業	99 (43)	89 (31)	10	11.2%	13 (9)	12 (6)	6 (2)	13 (4)	5 (2)	16 (6)	12 (6)	9 (2)	5 (2)	8 (4)		
旅館業	16 (9)	18 (11)	-2	-11.1%	4 (3)			2	3 (1)	3 (1)	1 (1)	1 (1)	5 (3)			
飲食店	9 (5)	22 (9)	-13	-69.1%		2 (2)			1 (1)	1	1	4 (2)	1			
接客振興業	17 (6)	23 (7)	-6	-26.1%	1	2 (1)	4 (4)	1	3	2 (1)	2	2	2			
その他	35 (11)	29 (21)	6	20.7%	3 (3)	6 (2)	2	2	1	5 (1)	2 (1)	2 (1)	4 (1)	1 (1)		
その他(上記以外の全ての業種)	② 73 (17)	① 80 (24)	-7	-8.8%	10 (6)	7 (2)	① 6 (1)	6 (1)	6 (1)	10 (2)	15 (4)	5 (1)	① 3			
合計	⑩ 1,006 (263)	⑥ 1,033 (289)	-27	-2.6%	① 117 (44)	① 123 (49)	③ 86 (18)	120 (21)	102 (22)	① 112 (23)	104 (22)	② 100 (20)	① 93 (20)	① 49 (14)		

(注) 令和2年10月末の速報値です。  
 ○内は死亡者数(内数)です。  
 ( )内は転倒災害者数(内数)です。

【参考2】

令和2年 1月～10月

令和2年 労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

岩手労働局

業種	当年累計	年齢別発生状況												
		19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
製造業	食料品	1	2	2	2	2	1	4	6	2	2	4	3	
	水産食料品													
	上記以外の食料品	67	4	6	5	6	6	4	8	9	12	3	4	
	繊維・衣服その他繊維製品	2		1			1							
	木材・木製品、家具・装備品	27	1	2		6	5	1	7	2	1	1		
	パルプ・紙、印刷・製本	① 7						1	2	① 2	2			
	化学工業	16	1	2	1	1	3	1	4	1	1	1		
	窯業土石	4			1			2			1			
	鉄鋼業、非鉄金属	8			2	2	2		1	1				
	金属製品	18	2	3	1	1	2	2	2	3				
建設業	一般機械器具	12	2	2	1	1	1	5	5	2	1	1		
	電気機械器具	12	2	1	1	3	3	2	2	3	1	1		
	輸送用機械製造	12	1	2	3	3	3	2	2	1				
	電気・ガス	16		3	1	1		2	3	5		1		
	その他の製造	① 219	13	24	14	19	24	14	37	29	28	9	6	
	小計	4					1	1			1	1		
	土木工事	① 62	3	2	2	3	9	① 5	3	7	10	12	5	
	鉄骨・鉄筋家屋	20	1	2	2	2	2	2	1	1	3	4	1	
	木造家屋	35	7	3	4	4	1	5	1	2	1	6	2	
	その他の建築工事	① 33	1	4	4	3	① 6	6	1	2	3	4	1	
その他の建設	21	2	3	1	2	3		3	2	1	3	1		
小計	② 171	12	14	14	10	① 21	① 18	9	14	18	29	10		
道路貨物運送業	70	6	4	4	3	8	12	12	9	7	4	2		
その他の運輸交通業	① 11		2	2		2	① 2	2	2	2		1		
貨物取扱														
農林業	農業	① 15	1	① 3	2	2				2	3			
	林業	③ 39		3		5	1	4	2	① 5	3	① 6	3	
	畜産業	52	6	2	6	5	5	7	4	3	3	2	2	
	水産業	9	3			1			1	1	2	1		
	小売業	113	2	6	7	5	3	14	11	18	23	15	7	
小計	④ 244	2	2	2	2	1	4	3	3	2	1	1		
通信業	14						3	5	1					
保健衛生業	社会福祉施設	99	1	8	7	6	9	13	11	13	13	6	2	
	その他の保健衛生業	16	1				2	4	4	4	3	1	1	
	旅館業	9			1	1	1	3	1	1	1	1	1	
	飲食店	17	1	1	1	2	2	3	1	1	1	2	2	
接客娯楽業	その他の接客娯楽業	16	1	1	3	3	2		1	1				
	ピルメニアダンス業	35		1	2	1	2	2	8	4	8	6	1	
	その他の（上記以外の全ての業種）	⑤ 73	2	8	11	2	5	① 5	9	8	① 10	① 3	3	
小計	⑥ 1,006	15	53	① 79	72	69	① 84	② 96	① 122	② 118	① 127	① 105	① 54	
合計	⑦ 1,006	15	53	① 79	72	69	① 84	② 96	① 122	② 118	① 127	① 105	① 54	

(注) 令和2年10月末の速報値です。

○内は死亡者数(内数)です。 ○内は転倒災害者数(内数)です。

【参考3】 令和2年 主要業種における事故の型別労働災害発生状況(休業4日以上の死傷者数)

( 令和2年10月末速報値 )

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故(道路)	交通事故(その他)	動作の反動・無理な動作	その他	分類不能	計
製造業	19	66	10	13	3	8	46	27	0	0	5	0	0	1	0	0	1	0	19	1	0	219
建設業	54	17	11	15	7	10	18	17	1	0	4	1	1	0	0	0	8	0	5	2	0	171
道路貨物運送業	23	12	8	4	1	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	9	0	0	70
林業	1	1	0	7	1	15	4	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	39
小売業	11	41	6	4	2	5	5	8	0	0	2	0	1	0	0	0	8	0	20	0	0	113
社会福祉施設	4	43	3	0	0	2	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	12	0	23	7	0	99
全産業	153	253	59	51	18	62	122	75	2	0	22	5	2	1	0	0	57	1	109	14	0	1,006
	15.2%	25.1%	5.9%	5.1%	1.8%	6.2%	12.1%	7.5%	0.2%	0.0%	2.2%	0.5%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	5.7%	0.1%	10.8%	1.4%	0.0%	100.0%

( 令和1年10月末速報値 )

製造業	12	51	5	14	2	7	46	20	0	0	12	3	0	0	0	1	2	0	19	1	0	195
建設業	61	26	4	15	4	9	17	14	0	0	5	0	0	0	0	0	13	0	10	2	0	180
道路貨物運送業	30	18	12	10	4	3	11	1	0	0	1	1	0	0	0	0	6	0	7	0	0	104
林業	2	4	0	7	0	6	3	13	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	37
小売業	7	54	5	8	2	2	4	8	0	0	1	0	0	0	0	0	13	0	11	0	0	115
社会福祉施設	5	31	4	1	0	3	2	4	0	0	2	0	0	0	0	0	4	0	31	2	0	89
全産業	164	289	52	69	16	40	118	68	0	0	31	6	0	0	0	1	56	0	116	7	0	1,033
	15.9%	28.0%	5.0%	6.7%	1.5%	3.9%	11.4%	6.6%	0.0%	0.0%	3.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	5.4%	0.0%	11.2%	0.7%	0.0%	100.0%

<差分>

製造業	7	15	5	-1	1	1	0	7	0	0	-7	-3	0	1	0	-1	-1	0	0	0	0	24
建設業	-7	-9	7	0	3	1	1	3	1	0	-1	1	1	0	0	0	-5	0	-5	0	0	-9
道路貨物運送業	-7	-6	-4	-6	-3	-1	-3	-1	0	0	-1	-1	0	0	0	0	-4	1	2	0	0	-34
林業	-1	-3	0	0	1	9	1	-4	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
小売業	4	-13	1	-4	0	3	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	-5	0	9	0	0	-2
社会福祉施設	-1	12	-1	-1	0	-1	1	-4	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	-8	5	0	10
全産業	-11	-36	7	-18	2	22	4	7	2	0	-9	-1	2	1	0	-1	1	1	-7	7	0	-27

岩手労働局